この世界の片隅に

ファンブック制作進行中!!!!!

漫画家や作家からの寄稿、
有名人・著名人のインタビューや対談、
そして、こうの史代先生を始めとする
関係者インタビュー等、
『この世界の片隅に』への愛が詰まった1冊!!

吉田戦車　山名沢湖
のりつけ雅春　若杉公徳

次ページより！

ファンブックに収録するものの中から、
本誌では先行してこちらの4名から頂いた
原稿をお届けします!!

吉田戦車

「おかゆネコ」⑦巻＆
「まんが親」⑤巻発売中

公開前、原作は読んでいなかった。

クラウドファンディングに協力した同業の方々が多かったみたいで、ツイッター上での前評判がすごくいい。これは公開したらすぐに、さらなる誉めツイートの嵐が吹き荒れるにちがいない。とっとと観ておこうと思った。

好評の数々を目にして若干かまえた気持ちになっていたためか、最初はなかなか話に入っていけなかった。山男や座敷わらしみたいなのが出てきたけど、そういうもののけファンタジー系のお話なのか？　トトロなのか？

が、すずさんが結婚してから、どんどん物語に乗れ始めた。きつい小姑として登場した径子のキャラがほどけるにつれ、すずさんの居場所ができていくにつれ、物語がどんどんいとしくなっていく。

遊郭のシーンにもやられた。私は旧花街の建物の写真集が好きで、時々めくっては自分が生まれる前の時代を思ったりしている。少年時代にピンク映画上映館の前を通りすぎながらチラ見したような好奇心もないではないが、大人も後半にさしかかろうという今となっては、なくなった古い駅舎や旅館や食堂に感じる郷愁と同様の興味という感じだろうか。

きらびやかに、脂粉の香りすら香るように表現された朝日遊郭はすばらしかった。もちろん、無邪気に「遊郭建築ステキ」などと言ってはいられないことも承知している。いるが、あの花街の寿司屋で何かぼんやり考えながら（エッチなことを、だろうか）刺身つつついて一杯やりたい、と思わずにはいられないのだった。

戦争ははるか昔のこと。なんとなくそういう距離感で生きてきたのだが、ぜんぜん大昔じゃないんだよな、と実感させてくれる作品でもあった。

あの時代の東北の町に、大規模な空襲などはなかったにせよ、昭和7年と11年生まれの私の両親もいたのだ。晴美さんのちょっと上くらいの子供として。さいわいに彼らは腹を減らしながらも成人し、私が生まれたのだった。

その自分の右手を、つい左手で握りしめたくなるようなつらい展開。私は「絵を描かずにはいられない」というタイプの人間ではないが、それでも、家に帰ったら何か絵を描こう、と思った。自由に描けるのだから。すずさんのかわりに、なんていうつもりはないけれど。

この拙文を書くにあたって二度目の観賞をしてきたのだが、今回強く印象に残ったのが「海苔」だった。

海苔が育つ海があり、それを商品化する仕事があった。まだ破壊されていない広島の街にそれを納めに行くという「おつかい」があった。

失われた多くのもの。それでもラスト近いシーンで母親と死別した少女が口にする海苔巻きには海苔が巻かれているし、すみちゃんが療養している草津のおばあちゃんちでは海苔を作り続けているのだ。

戦争がなく、埋め立てで廃業しなかったら「鬼いちゃん」は海苔生産業を継いでいただろうか。兄が死ななかったら水原哲も両親とともに海苔の仕事をしていたのだろうか。

などなどと、遅ればせながら原作を読んだからかもしれないが、妙に海苔のことが気にかかるのだった。海苔が「普通で、よき日本」の象徴のように思えるのだろうか。

たんぽぽやはこべを摘んできて料理してみようという気持ちにはならなかったが、そうだ、今晩のおかずは海苔にしようと思った。

(手巻き寿司をやりました)

☆吉田戦車先生のイラストはファンブックではカラーで掲載されます

山名沢湖（やまなさわこ）｜『結んで放して』『少年☆少女☆レアカード』

山名沢湖

病に夫を奪われ、イエに息子を奪われ
戦争に娘を奪われた、元モダンガールの
径子さん。

そりゃあ、イライラもするよなー。
ギスギスもするよなー。
すずさんは、心にいろいろ抱えても
ぼんやりのほほんに 見えるから
きつくあたってしまうこともあるよな──。

でも、そんな二人の間に「絆」のようなものが
さらりと立ち上ってくる瞬間があって
それがなんとも 胸にせまるのですよ。
映画では リンさんのエピソードが
省略されてる分、すずさんと径子さんの
関係が 前に出てる感じがあり、
あれですよ！ 百合ですよ!!
すずさんは 姫百合、径子さんは鬼百合
ですよ!!

あれから十年
晴美が生きとったら
どがいな娘に
なったんじゃろか

…

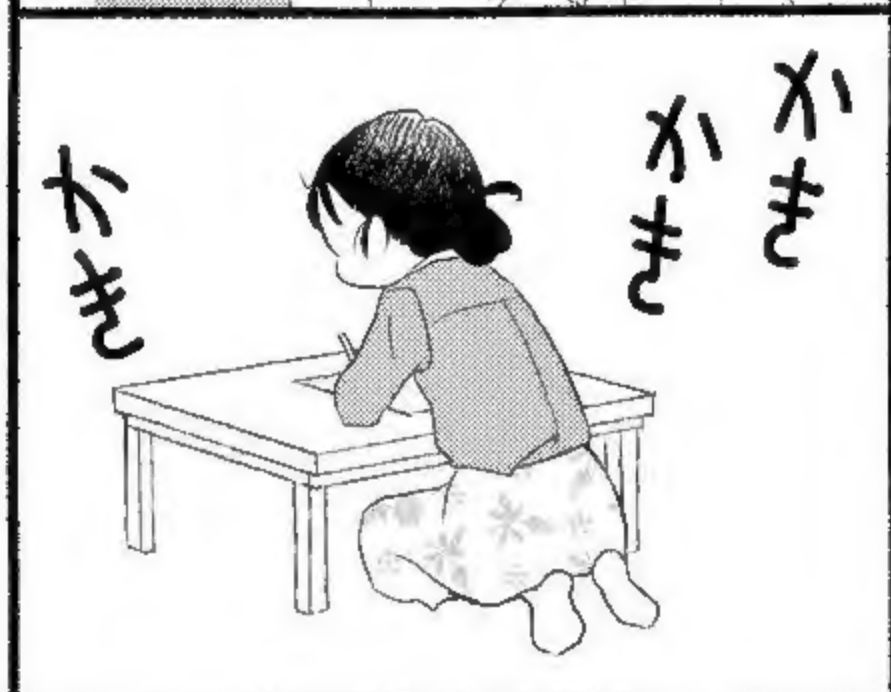
かき
かき
かき

…左手で描いた
絵ですけえ
あんまり
似とってないかも
しれんの
ですけど…

すずさん！

もえ〜

すずさん…

方言協力：新井操田さん（呉出身）Thanks!!

お話の最後、すずさんと周作さんが
連れてくる 戦災孤児の女の子。
あの子は 北條家で すずさんと
径子さんという二人のお母さんを
得たのかもしれませんね。
ひとつの着物を 三人分の新しい服に
仕立て直すエンドロールの画面は
様々なものを失った三人に
とても優しく暖かかったです。

◀ こちらの四コマは往年の髪型で
描きましたが、戦争が終わった
平和の日々の中で 径子さんが
「おしゃれな自分」を 取り戻して
いくのも素敵かも。

最先端
すぎじゃろ!!

サイケ

70's
ヒッピー

OSHARE

ああ
こぎゃあな

のりつけ雅春
「週刊スピリッツ」で「しあわせアフロ田中」（①～⑥巻）を連載中

映画館で
『この世界の片隅に』
CINEMA
映画かーん
4D

を見た。

ドッガーーン
!!

うわーー
ーーーっ!!!

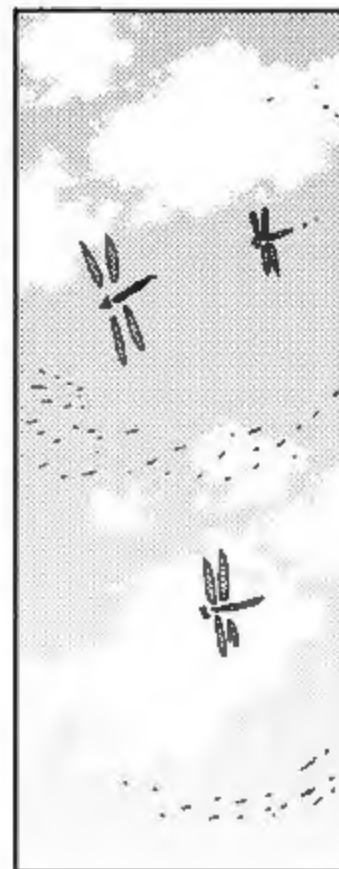
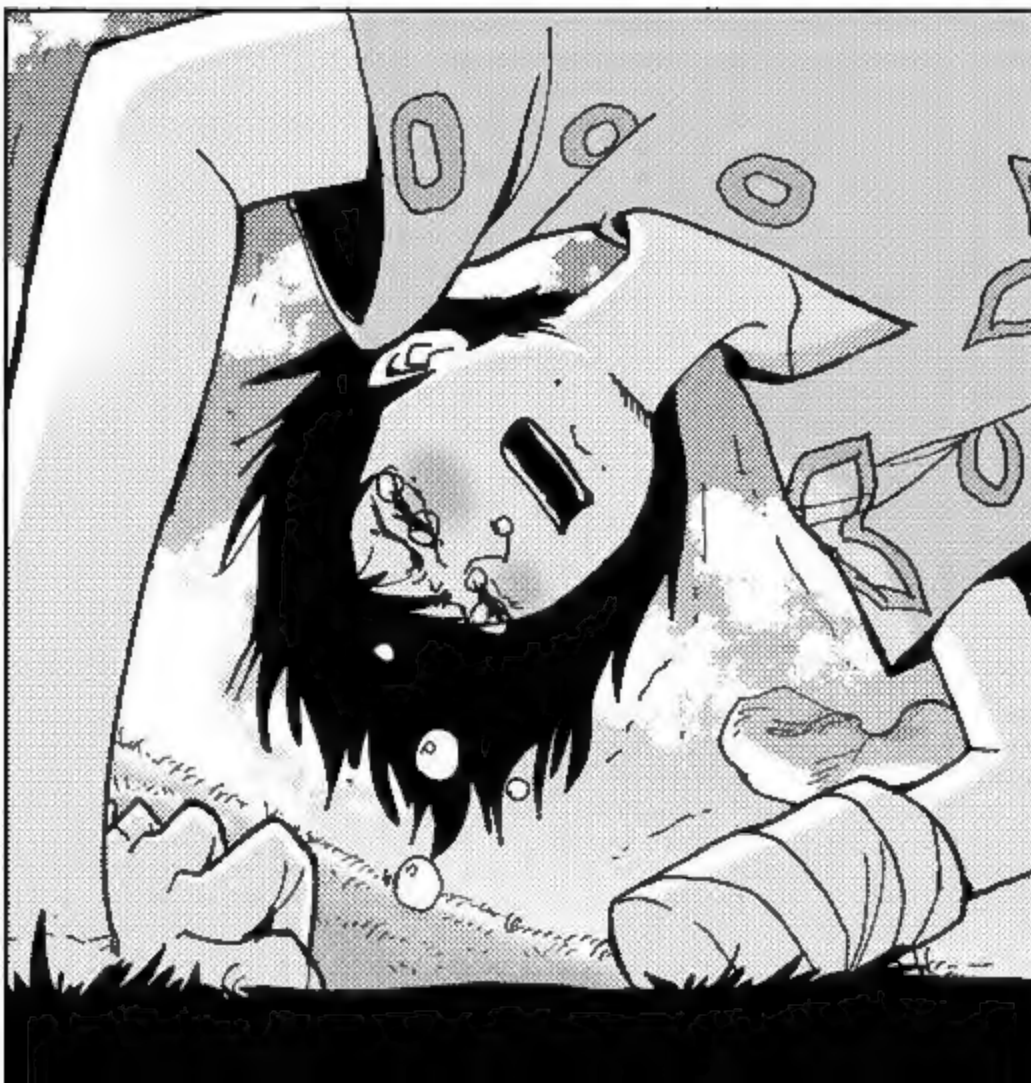
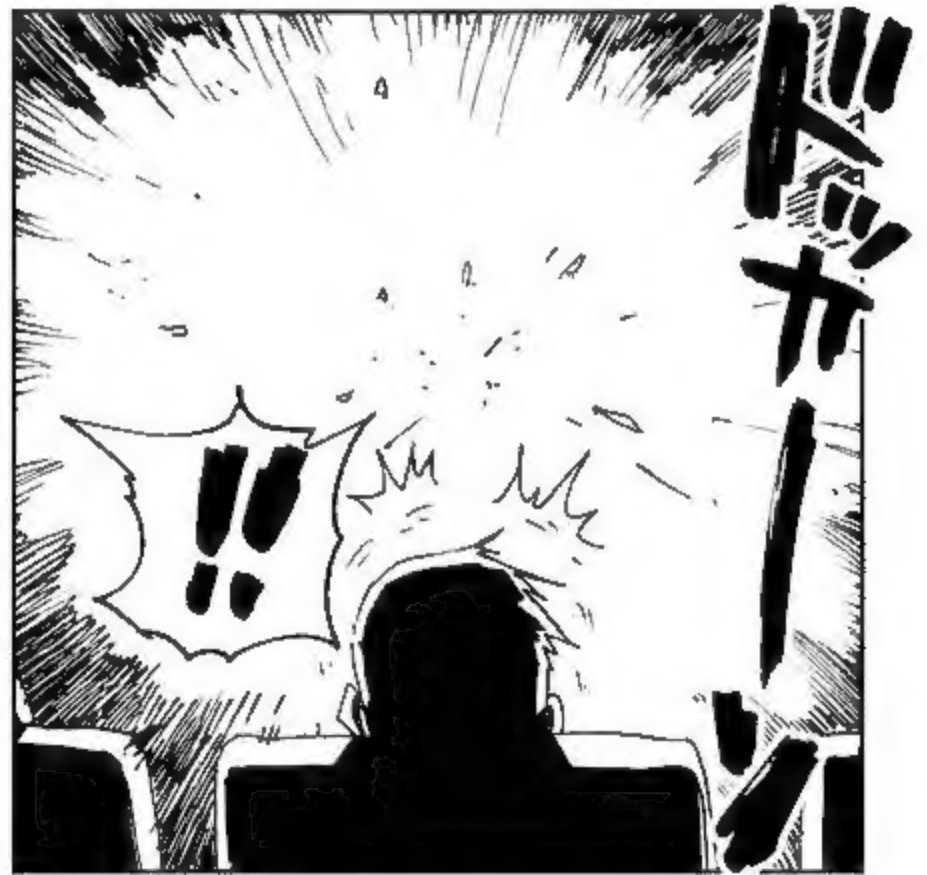
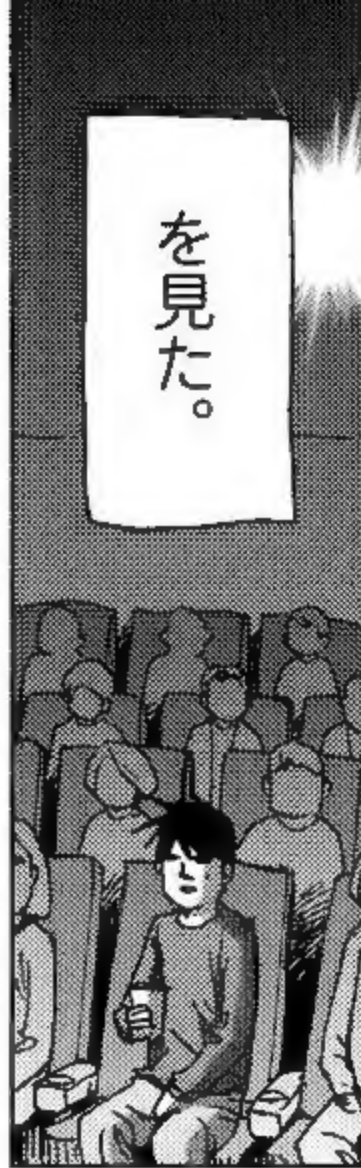
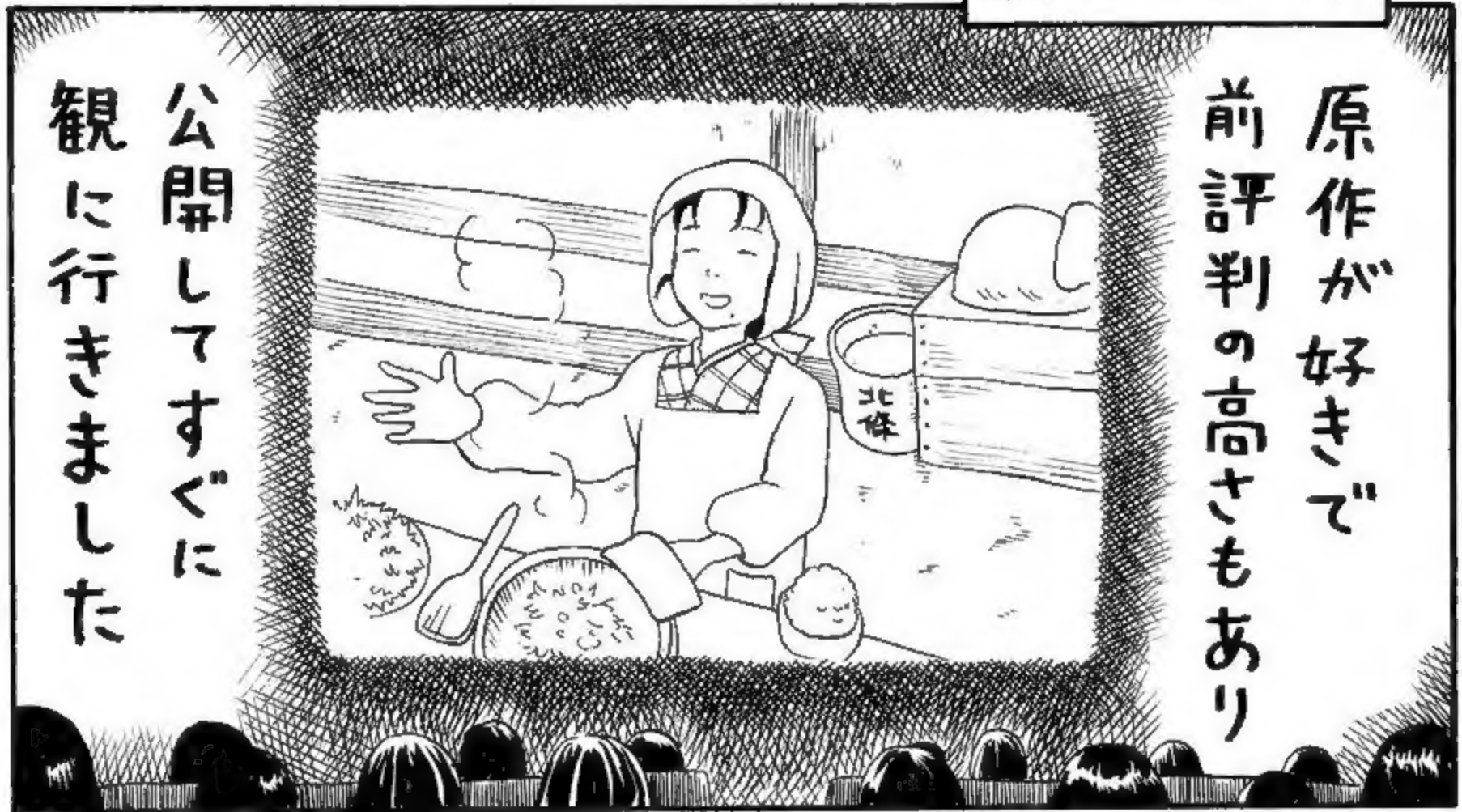
うーー
わーー!!

う――

わ――

"世界はボクのもの"を連載中だった僕が

"この世界の片隅に"を観た2016年

若杉公徳

若杉(わかすぎ)公徳(きみのり)
代表作『デトロイト・メタル・シティ』『世界はボクのもの』全4巻発売中

タクシーの中に沢山のチラシやグッズが置いてあり
この世界の片隅に
この世界の片隅に
この世界の片隅に

これは『この世界の片隅に』の…なんでだろ
こ…の…
あ

とても良い映画だったので多くの人に観てもらいたくて
こうやって広めてるんです

ごらんになりました?
ああ…はい
のんさんとても良かったでしょ〜〜
ブゥ
ウ

同じく世界がタイトルにつく漫画が大ゴケしていた僕は
この時ばかりは思った
おと〜いくよ〜
ウ
ウ

うらやましっ
ぜんぜん世界ボクのものになんなかったな!!
2016年は忘れられない年だ